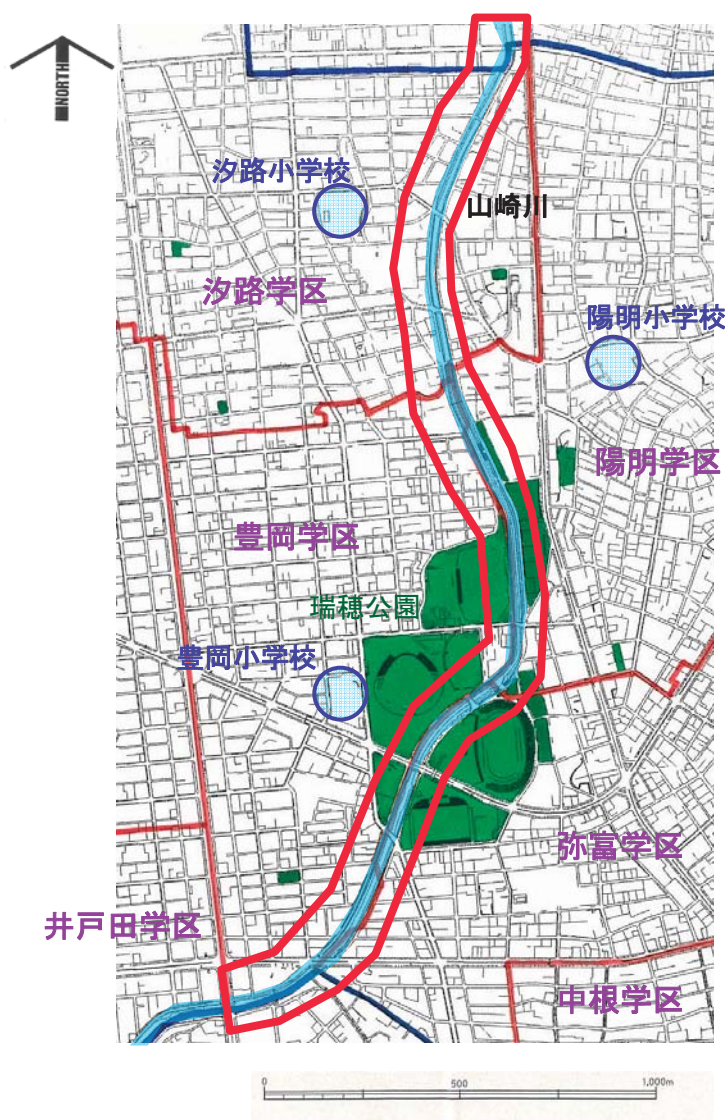


記号	L	名 称	やまざきがわ 山崎川	学区	しおじ ようめい とよおか 汐路・陽明・豊岡・ やとみ 弥富学区
----	---	-----	---------------	----	---

■対象地の概要■

- 山崎川は瑞穂区の中央部を南北に流れ、東側は名古屋市東部丘陵地、西側は低位の丘陵地となっている。水源は千種区の猫が洞池からの放水である。
- 対象となる学区は、水辺に近づくことが可能と考えられる汐路・陽明・豊岡・弥富学区である。
- 山崎川は河川工事によって護岸が整備され、上流部では掘割状の形状をなし、全般的に親水性が低い。しかし汐路学区エリアでは河床まで降りるための階段が、また瑞穂運動公園エリアでは親水護岸などが整備されており、これら水辺に近づくことが可能なポイントを中心に、数少ない水辺の自然体験型環境学習のフィールドとして活用できる。

■位置図■



■写真■(平成 21 年 7 月調査)



- 石川大橋の左岸には階段が設置され、河床の水辺まで降りることが可能である。



- 鼎橋の左岸にも、階段が設置されている。両側に桜並木がつづく。



- 瑞穂橋の左岸には、親水階段護岸や滝が整備され、水辺まで近づける構造となっている。中洲には水辺の植物もみられる。